

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 7月

平成30年7月1日の推計人口 1,341,702人
世帯数 562,128世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年7月1日現在の推計人口は、1,341,702人で、前月(1,342,367)に比べ665人の減少となった。

市部では大村市(87)の1市で増加し、長崎市(253)、佐世保市(195)、諫早市(49)、南島原市(41)、雲仙市(36)、壱岐市(31)、島原市(30)、対馬市(20)、西海市(15)、平戸市(13)、五島市(11)、松浦市(6)の12市で減少した。

郡部において佐々町(7)、波佐見町(5)、川棚町(1)の3町で増加し、新上五島町(21)、東彼杵町(17)、長与町(13)、時津町(10)、小値賀町(4)の5町で減少した。

自然動態は、出生数809人、死亡数1,202人で393人の減少、社会動態は、転入者数2,657人(県内転入を含む)、転出者数2,929人(県内転出を含む)で、272人の減少となった。

2 世帯数

平成30年7月1日現在の世帯数は、562,128世帯で前月に比べ33世帯の減少となった。なお、世帯数をシステムの不具合があったため修正した町がある。

(注) 異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 5月

1人あたり現金給与総額 252,454円
対前月比 2.7%増加
対前年同月比 0.6%減少

1 賃金

5月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額252,454円で、前月に比べ2.7%増加し、前年同月に比べ0.6%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,247円で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ0.9%減少した。

特別給与額は8,207円で、前年同月に比べ、860円増加した。

2 労働時間

5月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.0時間で、前月に比べ1.2%減少し、前年同月に比べ2.6%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は139.6時間で前月に比べ1.2%減少し、前年同月と比べ1.9%減少した。

所定外労働時間数は11.4時間で、前月に比べ0.9%減少し、前年同月に比べ8.8%減少した。

3 雇用

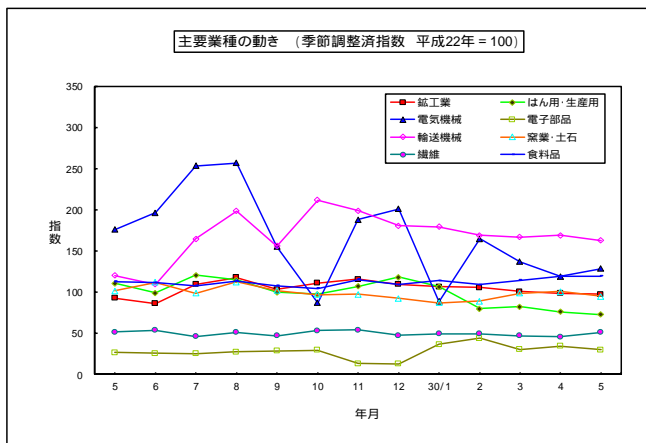
5月の常用労働者数は224,797人で、前月と同水準であり、前年同月に比べ3.3%減少した。

【鉱工業生産指数】…………… 5月

平成30年5月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	97.5	1.1	96.9	6.5
九州	p109.8	p3.8	p104.1	p2.9
全国	104.4	0.2	98.8	4.2



平成30年5月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が97.5で前月比は1.1%の減、原指数は96.9で、対前年同月比は6.5%の増となった。

業種別にみると、繊維工業、電気機械工業など3業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業など9業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
繊維工業	12.1	1.4	織物製外衣
電気機械工業	8.1	35.4	交流電動機

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	12.5	14.1	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	5.9	3.7	生コンクリート
はん用・生産用機械工業	4.1	36.3	タービン
輸送機械工業	3.7	45.0	修繕船

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 6月

総合指数(H27=100)	102.4
対前月比 (%)	0.0
対前年同月比 (%)	1.8

平成30年6月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、102.4である。

前月と同水準で、主な上昇要因は「保健医療」の+1.1%、「教養娯楽」の+0.2%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の2.1%、「被服及び履物」の0.9%である。

前年同月比は、平成30年3月は+1.3%、4月は+0.9%、5月は、+1.6%と推移した後、6月は1.8%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.6であり、前月と同水準、前年同月比は+1.9%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	0.3%
保健医療	1.1%
教養娯楽	0.2%

下落した費目

家具・家事用品	2.1%
被服及び履物	0.9%
諸雑費	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 6月

消費支出(一世帯当たり)	295,457円
前月比	6,182円増(2.1%増)

平成30年6月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は295,457円で、前月比2.1%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は39.7%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	66,948	8.5
住居	31,132	89.7
光熱・水道	19,701	4.1
交通・通信	43,709	18.9
教養娯楽	22,476	6.7

(注)この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。